

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市吾妻町	吾妻土地改良区1・2工区 ほ場整備地区	令和2年3月10日	/

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	242.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	147.9 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	36.1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	48.5 ha
(備考) ・基盤整備、水田の排水対策の推進。 ・集落営農組合の発展	

### 2 対象地区の課題

・地域内は干拓事業を活用した大規模な水田農業地域である。以前は国の転作制度を活用し、転作団地化が進められていたが、現在は地区内の北西部において一部飼料作物の団地地帯があるものの、全体的には作付品目がバラバラの状況である。 ・水田の利用率を高めるには裏作の作付を推進する必要がある、また、収益を高めるため水稻以外の作物の推進を図りたいが、排水が悪いほ場が多く、水稻以外の作物を作れないほ場が多い。 ・水稻の新品種導入の話もあるが、水管理や防除の問題もあり、団地化を図りながら推進する必要がある。
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・認定農業者、認定新規就農者を中心とした地域内の中心経営体に農地を集積していくと同時に、現在、主に農作業受委託組織である吾妻集落営農組合の育成を法人化を視野に入れて協議していく。
---

(参考) 中心経営体

属性	経営体数	現状		今後の経営の意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
法人 個人 集落営農	1経営体 111経営体 1組織	—	15,921.1 a	—	20,767.4 a		

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<b>農地の貸付け等の意向</b> 貸付け等の意向が確認された農地は、139筆、238,277㎡となっている。
<b>農地中間管理機構の活用方針</b> 農地の貸し付けの際は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
<b>基盤整備への取組方針</b> 水田の耕作条件や作業効率の向上を図るため、国の農地耕作改善事業等を活用し、水田の畑地化及び汎用化を地域全体で進めていく。
<b>新規・特産化作物の導入方針</b> 水稻以外に、収益性の高い園芸作物の生産の推進を図るため、ホウレン草などの新規作物の栽培検討を行う。また、加工業務用野菜の導入も関係機関の指導を受けながら進めていきたい。
<b>鳥獣被害防止対策の取組方針</b> 特にカモによるブロッコリーの鳥獣害被害については、吹き流しや、テグス設置など様々な方法で対応を図っている状況であるが、今後も関係機関の指導を仰ぎながら、有効な対策を土地改良区全体で共有し、組合員に周知して被害防止に努める。